

大切なものをゴミにしないために

リサーチの背景

年末の大掃除を経て、我が家から多くの不要品が発掘された。どの家庭にも、使用せずに眠っているものが多数あるのではないだろうか。バザーやネットオークションが手軽になり、色々なものが売れる時代になってきた。その中でも販売できないと思われる「捨てにくいもの」は、どのように処分したらいいのだろうか。

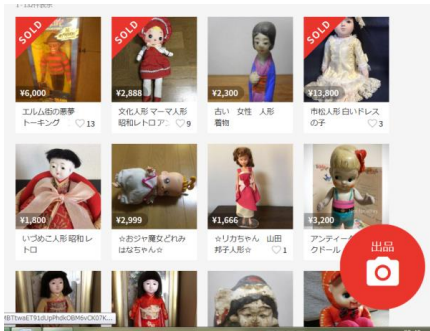
作成者: A. N.

レポートに関する
お問い合わせ:
03-5542-5300
info@sfinter.com

お焚き上げの様子



メルカリでは多数出品されている



(出典: メルカリ (2020年3月5日「人形」で検索))

簡単に捨てられないもの

私たちは、人形やぬいぐるみをゴミとして捨てることに抵抗を感じる。しかし、なぜそのように感じるのだろうか。人形が簡単に捨てられない理由としてよく耳にするのが、「モノには魂が宿る」という考え方である。日本人特有の文化として、「魂の宿ったものは、魂を抜いてから処分する」という風習があり、伝統的に「お焚き上げ※」の供養が執り行われている。

しかし、近年では屋外での焼却処分に対する規制が強まってきている。プラスチックを原料とする製品が増えており、焼却の際にダイオキシンなどの有害物質が発生してしまうためだ。お焚き上げ供養を希望する場合は、適切に処理をしてくれるところへ申込みが必要だ。

※寺院や神社などで僧侶や神主がモノを供養し、焼却すること。

捨てる、以外の方法も

お焚き上げ以外にも、人形の処分・再利用の方法がある。

- 1 寄付 : 不要品として処分せず、次の持ち主を探す(＝リユース)する支援活動。主に海外の学校や文化交流施設に送られる。
- 2 リサイズ : 段組みなどの構成を変えてコンパクトにする。人形自体に手を加える必要がなく、装飾しやすくする。専用の収納箱機能の付いた台に変えれば収納もしやすい。
- 3 販売 : メルカリやジモティなどのフリマアプリでの販売や譲渡。多数の出品数から、需要が高いことがわかる(左図参照)。

ゴミ処分せずに再利用

人形に限らず、「不要品」と思われていたものが、様々な方法で再利用できることができる。実際に、フリマアプリを利用しての譲渡や売買が幅広く行われている。意外なものまで取引されているのを見ると、「モノ」の需要や価値観は人それぞれ、環境によっても異なってくるのだろう。

モノを違う角度で見えてみると、「処分＝捨てる」だけではなく、ゴミにしない方法が存在する。筆者も、今回人形を捨てるのではなく寄付することにした(寄付方法の詳細は裏面参照)。このような「モノを捨てない」文化は、サステナブルな生活の実現を目指すうえで、良い例になるのではないだろうか。

実践してみた ～人形を「寄付」する～

年末に発掘された実家に眠っていた雛人形。当初は人形供養(お焚き上げ)に出そうと考えていたが、最終的に「セカンドライフ」というサイトから寄付を申し込むことにした。

人形の寄付の話を母にしたところ、兄弟の五月人形や、嫁入り道具のひとつだった日本人形も一緒に出したいと言う。その他、食器やバッグなどの不要品の整理も含め、寄付できるものを選定した。

寄付の手順

- 1 寄付品のサイズに合わせてダンボールの数を申請
- 2 申請した箱数に合わせて送料を入金
- 3 送付用の専用伝票が届いたら、用意したダンボールに詰めて送る



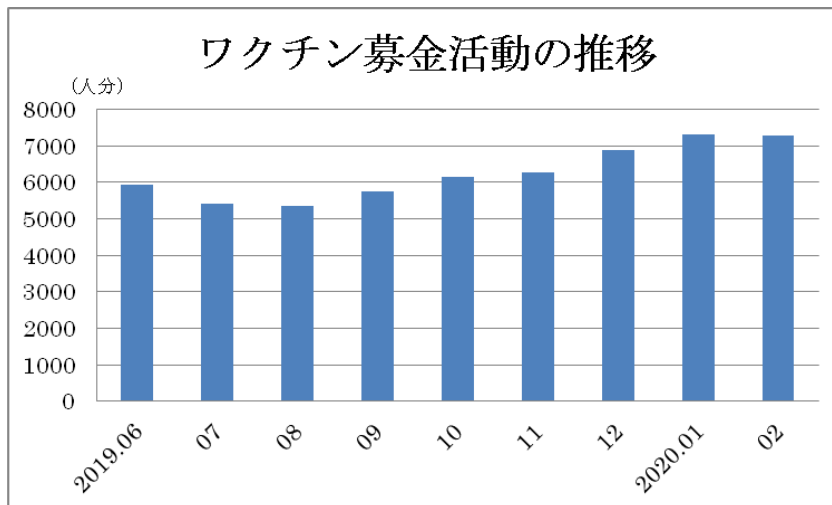
施設で仕分け後、
新しい持ち主がリユース

人形寄付のメリット

- ・ 選別後、可能な限りリユース・リサイクルされる
- ・ 送った1箱に対して2本のワクチンがユニセフを通じて寄付され、ワクチン募金もできる

今月末には寄付が完了する予定だ。誰かのもとで新しい生活が始まることを祈っている。

ワクチン募金の実績



出典: セカンドライフ (2020年3月現在)

▲ ユニセフへの寄付活動は2010年から始まり、2020年3月現在で46,814人分のワクチンが寄付されている。

参照・引用資料

- お焚き上げコラム/お焚き上げとは: <https://www.otakiage.com/column/?id=1508811641-891167>
- セカンドライフ/人形の寄付: <https://www.ehaiki.jp/second/>
- メルカリ: <https://www.mercari.com/jp/>

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。

本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。株式会社サティスファクトリーは、本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。

また、本件に関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。